



# おきなわ



作品名：「ヤンバルクイナの家族」（第11回沖縄ねりんピックかりゆし美術展 洋画の部銅賞）  
作成者：平得 光雄さん（与那原町）

目次

- ② 令和2年度 沖縄県社会福祉協議会  
事業計画・資金収支予算書(概要)
- ⑥ 令和2年度 沖縄県共同募金会  
事業計画・資金収支予算書(概要)
- ⑧ THANKS(サンクス)運動関連記事  
「THANKS 運動の更なる推進に  
向けて」 他
- ⑨ シリーズ記事「ふくし&〇〇」  
第4回～ふくし&住まいのサポート～ 他
- ⑩ 一時的な資金の緊急貸付に関するご案内
- ⑪ 新型コロナウイルスによる各社会福祉施設等  
への影響調査及び県への要請について 他
- ⑫ インフォメーション、寄付者芳名、表紙の絵 他

広報紙「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部に共同募金配分金を充てております。

## 令和2年度 沖縄県社会福祉協議会 事業計画(概要)

### 基本方針

本会では、第4次地域福祉活動総合計画に掲げる「支え合い、安心して暮らせる地域社会を目指して」の基本理念を実現するため、市町村社会福祉協議会や福祉施設・団体、民生委員児童委員、ボランティア・NPO等との協働のもと、「THANKS(サンクス) 運動～地域の人々が明るいネットワークを築き支え合う社会の実現～」(以下:「THANKS(サンクス) 運動」)を推進します。

さらには、災害時の福祉支援体制の整備、福祉人材の確保・養成・定着に向けた取り組み、権利擁護体制の整備等、福祉・生活課題への対応と地域福祉の発展を目指して、以下の事業を重点に取り組みます。

※今般の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の本会主催事業について、中止または延期となる場合がございますので、予めご了承ください。

## ① 地域福祉の推進及び福祉文化の形成

### (1) 地域福祉を担う市町村社協活動強化への支援

○「地域力強化推進事業(ゆいまーる事業)」等を実施し、住民主体の小地域福祉活動の普及促進を図るとともに、コミュニティソーシャルワーク実践の普及に努めます。また、地域福祉(活動)計画の策定・見直しの推進に努め、市町村社協の組織強化を支援します。さらに、「小規模法人ネットワーク化事業(ちゅいしいじい事業)」を実施し、社会福祉法人や地域の関係者が連携して課題解決を図る体制づくりを進めます。

### (2) 「THANKS(サンクス)運動」の展開

○社会的孤立の解消・防止に向けた THANKS(サンクス)運動のさらなる普及促進と併せて、地域包括ケアシステムの構築を推進します。また、「子どもの居場所ネットワーク事業」において、居場所の連絡会の開催等により、活動の活性化の支援及びネットワーク化を促進します。また、「社会的孤立対策モデル事業」等における市町村社協への支援を通じて、地域における支え合い体制づくりを推進します。

### (3) ボランティア・市民活動の充実強化

○「市町村社協ボランティア担当者研究協議会」等の開催や、市町村社協への助言・情報提供等を通じて、ボランティアセンターの設置促進や機能強化の支援を行うとともに、関係機関・団体と連携・協働し、ボランティア・NPO活動の推進支援に取り組みます。また、「ボランティア学習・福祉教育セミナー」を開催し、福祉教育の取り組み強化を図ると同時に、県かりゆし長寿大学の学生等を対象に「ボランティア学習ツアー」を開催し、アクティブシニアの活動を推進します。

### (4) 民生委員児童委員活動の強化・支援

○県民児協との連携のもと、各種研修会を開催し、民生委員児童委員の資質向上を図ります。また、本会ホームページ等を活用した広報・啓発と併せて、市町村民児協担当者会議や民生委員・児童委員広報研修会等を開催し、各市町村民児協の情報交換や情報発信力の向上を図り、県民へ民生委員児童委員活動の理解促進および本県の民生委員児童委員の充足率向上に努めます。

### (5) 災害時における危機管理体制の強化

○「県内社協災害時相互応援協定」に基づく「市町村社協・事務局長連絡会」の開催等により、県社協及び市町村社協が災害時の支援活動を迅速・的確に行うための体制整備を進めます。また、災害発生時には、「県社協災害救援マニュアル」等に基づき支援活動を行います。

○「災害時福祉支援体制整備事業」に取り組み、災害派遣福祉チーム(DWAT)のチーム員養成研修を行うなど、災害時要配慮者への支援体制の整備を図ります。また、本会の災害時の事業継続計画(BCP)の策定を進める等、危機管理体制の強化を図ります。



▲子ども食堂での食事の様子





## ② 地域自立生活を支える福祉基盤づくり

### (1) 生活困窮者等の自立に向けた支援

- 「生活困窮者自立支援事業相談員等連絡会」等を開催し、相談支援における課題の共有や事例検討・意見交換を通して、各種支援活動の充実強化を図ります。
- 「生活福祉資金貸付事業」等、各種貸付制度の周知を図るとともに、関係機関との連携を強化し、生活困窮世帯等の自立に向けた円滑かつ継続的な支援を行います。また、貸付事業の相談員等を対象とした研修を開催し、資質向上と相談・支援体制の強化を図ります。

### (2) 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の推進

- 実践研究会議の開催等により、各市町村社協における実施体制の充実・強化を支援します。また、各種研修会等の開催により、事業従事者等の資質向上を図るとともに、各市町村社協と連携し、生活支援員の担い手確保・養成に努めます。
- 法人後見推進会議等を開催し、市町村社協における成年後見制度利用者の受け皿の拡充等、権利擁護体制の充実強化に取り組めます。また、市町村社協や県・市町村職員等を対象としたセミナーの開催等により、成年後見制度のさらなる普及促進と行政等、各関係機関との連携体制の構築を図ります。

### (3) 運営適正化委員会の機能強化

- 福祉サービス事業所等を対象としたセミナー開催等を通じ、苦情解決体制の強化や適切な福祉サービスの提供を推進します。また、福祉サービス利用援助事業の実施機関等に対して、現地調査を実施し、適正な運営を支援します。

### (4) 福祉サービスを必要とする矯正施設退所者への支援

- 高齢または障害によって福祉サービス等による支援が必要な矯正施設退所者に対し、情報提供や利用手続き等の支援を行い、円滑な社会復帰を支援します。



▲日常生活自立支援事業 事業担当者研修会の様子

## ③ 福祉サービスの質の向上

### (1) 施設提供サービスの質の向上

- 各種別協議会を中心に、福祉従事者のスキル向上等を図る研修会を開催するなど、利用者に対する良質で安定的な福祉サービスの提供を目指します。

### (2) 社会福祉法人への支援

- セミナー等の開催や迅速な情報提供を行い、各社会福祉法人のガバナンス強化や事業運営の透明性の向上による、経営強化等を支援します。
- 「社会福祉法人の公益的な取り組み指針」に基づき、各法人・施設の地域住民に対する相談支援体制の整備促進の支援を目的とした研修会を実施します。また、THANKS(サンクス)運動とも連動させながら、地域住民の福祉・生活課題へ対応するため法人相互の連携・協働による支援体制の強化を図ります。

### (3) 福祉人材の養成・確保・定着等の推進

- 学生や求職者等に対し、福祉の仕事の魅力を発信し、福祉や福祉の仕事への理解促進を図ります。また、保育士や介護福祉士の資格取得や再就職に係る資金の貸付、無料職業紹介事業等を実施し、人材確保を図ります。さらに、介護支援専門員の資格取得を支援すべく「介護人材キャリアアップ研修」や模擬試験を開催するとともに、「介護支援専門員実務研修受講試験」を実施し、介護支援専門員の確保を図ります。
- 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」の一部課程の実施等により、福祉従事者の段階的なスキル・キャリアアップの支援を推進します。

### (4) 介護技術等の普及による介護意識の醸成

- 一般県民及び家族介護者を対象とした講座を開催し、介護知識・技術の普及啓発を図ります。
- 常設展示場を活用した「福祉用具展示場見学・相談会」等を開催し、県民の福祉用具に関する知識を広め、在宅介護の支援に努めます。



▲福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程研修の様子

## ④ 明るい長寿社会づくり

### (1) 高齢者の生きがいと健康づくりの推進

- 「沖縄ねりんピック」や「かりゆし美術展」等を開催し、高齢者の自主的な活動を支援し、生きがいと健康づくりを推進します。また、「沖縄県かりゆし長寿大学校」の運営や「シニア活動実践セミナー」を開催し、アクティブシニアを養成します。

### (2) 高齢者の就労支援

- 高齢者無料職業紹介事業による就労斡旋や高齢者向けの職場説明・面接会を開催するなど、高齢者の就労支援に取り組めます。



▲かりゆし美術展テープカットの様子

## ⑤ 企画広報・助成・提言活動の推進

### (1) 調査研究・企画活動の強化

○総合企画委員会等において必要な調査研究活動に取り組み、県内の福祉課題を適切に把握し、新たな支援策の企画や政策提言に繋げます。また、「持続可能な開発目標SDGs」と本会の各種事業の整理等を進め、同開発目標の達成に向けた取り組みを推進します。

### (2) 福祉施策への提言・要請活動の強化

○沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会との連携のもと、県及び市町村等への提言・要請活動を展開します。また、県・全社協等の審議会・委員会等へ参画し、県社協の立場から福祉課題の解決に向けた政策提言等を行います。

### (3) 広報・啓発及び情報提供機能の強化

○「第63回沖縄県社会福祉大会」や広報誌等を通じた広報活動を拡充し、県民に対し社会福祉についての関心・理解を広げ、THANKS(サンクス)運動への参画を促進します。また、令和3年11月1日に本会が創立70周年を迎えることから、記念事業として記念誌の発刊等に向けて取り組みます。

### (4) 資金助成による活動支援の推進

○市町村社協、福祉施設・団体、NPO等の活動への支援として、活動費等の助成を行います。また、県内外の助成事業の情報提供や活用支援を行い、民間福祉団体の活動基盤の強化を支援します。



▲第62回沖縄県社会福祉大会  
記念講演の様子

## ⑥ 組織体制・財政基盤の強化

### (1) 組織体制・財政基盤の強化

○理事及び評議員に対して法人の経営分析情報等を適切に提供し、理事会・評議員会機能のさらなる運営強化を図ります。また、財務規律や内部統制機能の強化を図り、県民に信頼される組織経営の適正化と透明性を確保します。

○事業展開や組織経営の安定化に向けて、会費収入等の強化を図るとともに、新たな財源確保の検討を進めます。また、各種職場内・外での研修会の実施や派遣等を行い、事務局職員の資質向上と業務推進体制の強化を目指します。

○県総合福祉センターが県民の社会福祉活動の拠点施設としての機能を発揮できるよう、利用者及び入居団体のニーズに応じたセンター管理運営を行います。

令和2年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

## 事故・紛争円満解決のために！

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

### プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

#### ① 基本補償(賠償・見舞)

| ▶ 保険金額 |                         | 基本補償(A型)  | 見舞費用付補償(B型)                          |
|--------|-------------------------|-----------|--------------------------------------|
| 賠償事故   | 身体賠償(1名・1事故)            | 2億円・10億円  | 2億円・10億円                             |
|        | 財物賠償(1事故)               | 2,000万円   | 2,000万円                              |
|        | 受託・管理財物賠償(期間中)          | 200万円     | 200万円                                |
|        | うち現金支払限度額(期間中)          | 20万円      | 20万円                                 |
|        | 人格権侵害(期間中)              | 1,000万円   | 1,000万円                              |
|        | 身体・財物の毀損を伴わない経済的損失(期間中) | 1,000万円   | 1,000万円                              |
|        | 徘徊時賠償(期間中)              | 2,000万円   | 2,000万円                              |
| お見舞い等  | 事故対応特別費用(期間中)           | 500万円     | 500万円                                |
|        | 被害者対応費用(1名につき)          | 1事故10万円限度 | 1事故10万円限度                            |
|        | 傷害見舞費用                  |           | 死亡時100万円<br>入院時1.5~7万円<br>通院時1~3.5万円 |

保険期間1年

| ▶ 年額保険料(掛金)     |                                               |
|-----------------|-----------------------------------------------|
| 定員              | 基本補償(A型)                                      |
| 1~50名           | 35,000~61,460円                                |
| 51~100名         | 68,270~97,000円                                |
| 100名以降1名~10名増ごと | 1,500円                                        |
| 付見舞費用(B型)       |                                               |
| 基本補償(A型)<br>保険料 | +                                             |
|                 | 【見舞費用加算】<br>定員1名あたり<br>入所:1,300円<br>通所:1,390円 |

### プラン2 施設利用者の補償

### プラン3 施設職員の補償

### プラン4 社会福祉法人役員等の補償



スケールメリットを活かした  
充実した補償と  
割安な保険料  
です。

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損害保険ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

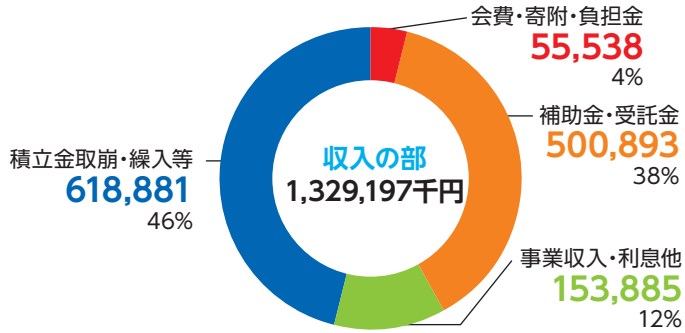
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)



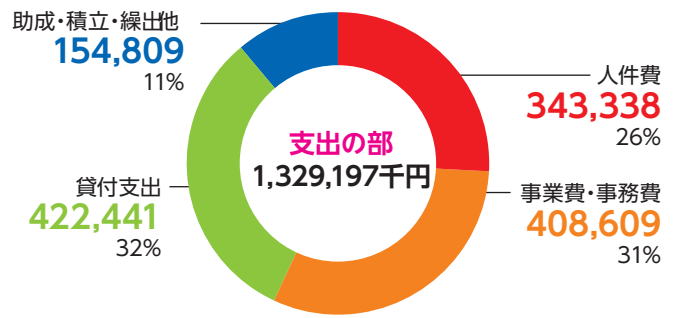
# 令和2年度 資金収支予算(概要)

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

【一般会計における収入構成】単位:千円



【一般会計における支出構成】単位:千円



一般会計サービス区分一覧表 ☆印は新規事業、●印は終了事業

| 会計   | 事業       | 拠点               | サービス区分                   | 当年度<br>予算額 | 前年度<br>予算額 | 増減     |
|------|----------|------------------|--------------------------|------------|------------|--------|
| 一般会計 | 社会福祉事業区分 | ①地域福祉推進拠点区分      | 1 法人運営事業                 | 119,899    | 113,735    | 6,164  |
|      |          |                  | 2 福祉活動指導員設置事業            | 36,760     | 39,675     | △2,915 |
|      |          |                  | 3 沖縄県ボランティアセンター運営事業      | 11,898     | 11,932     | △34    |
|      |          |                  | 4 民生委員活動推進事業             | 22,306     | 23,809     | △1,503 |
|      |          |                  | 5 地域福祉推進等研修事業            | 600        | 614        | △14    |
|      |          |                  | 6 共同募金配分金事業              | 12,158     | 6,649      | 5,509  |
|      |          |                  | ア 沖縄県社会福祉大会開催事業          | 2,715      | 2,908      | △193   |
|      |          |                  | イ 福祉情報おきなわ発行事業           | 1,363      | 1,397      | △34    |
|      |          |                  | ウ 市町村社協の現況作成時業           | 442        | 457        | △15    |
|      |          |                  | エ 市町村社協支援事業              | 1,765      | 1,887      | △122   |
|      |          |                  | オ 九州児童福祉施設職員研究大会         | 5,873      | 0          | 5,873  |
|      |          |                  | 7 災害支援体制強化事業             | 585        | 1,655      | △1,070 |
|      |          |                  | 8 サンクス運動推進事業             | 3,791      | 3,791      | 0      |
|      |          |                  | 9 災害時福祉支援体制整備事業          | 7,042      | 8,912      | △1,870 |
|      |          |                  | 10 子どもの居場所ネットワーク事業       | 12,302     | 12,297     | 5      |
|      |          |                  | 11 小規模法人ネットワーク化事業        | 16,050     | 0          | 16,050 |
|      |          |                  | 12 地域力強化推進受託事業           | 11,202     | 0          | 11,202 |
|      |          |                  | 地域福祉推進拠点区分 合計            | 254,593    | 223,069    | 31,524 |
|      |          | ②地域自立生活支援拠点区分    | 1 日常生活自立支援事業             | 103,440    | 102,689    | 751    |
|      |          |                  | 2 地域生活定着支援センター受託事業       | 23,788     | 24,236     | △448   |
|      |          |                  | 3 運営適正化委員会設置運営事業         | 9,837      | 9,829      | 8      |
|      |          |                  | 4 地域自立生活支援等研修事業          | 1,420      | 1,978      | △558   |
|      |          |                  | 地域自立生活支援拠点区分 合計          | 138,485    | 138,732    | △247   |
|      |          | ③人材育成・団体活動支援拠点区分 | 1 心身障害児者施設協議会活動事業        | 3,039      | 2,840      | 199    |
|      |          |                  | 2 身体障害児者施設協議会活動事業        | 1,899      | 1,925      | △26    |
|      |          |                  | 3 社会福祉法人経営者協議会活動事業       | 15,511     | 16,164     | △653   |
|      |          |                  | 4 児童養護協議会活動事業            | 1,984      | 2,048      | △64    |
|      |          |                  | 5 老人福祉施設協議会活動事業          | 10,517     | 10,496     | 21     |
|      |          |                  | 6 保育協議会活動事業              | 14,167     | 14,575     | △408   |
|      |          |                  | 7 地域包括・在宅介護支援センター協議会活動事業 | 2,559      | 2,572      | △13    |
|      |          |                  | 8 福祉人材センター受託事業           | 39,647     | 46,084     | △6,437 |
|      |          |                  | 9 社会福祉研修受託事業             | 27,845     | 26,241     | 1,604  |
|      |          |                  | 10 介護実習・普及センター管理受託事業     | 12,479     | 12,708     | △229   |
|      |          |                  | 11 福利厚生センター受託事業          | 8,084      | 8,951      | △867   |
|      |          |                  | 12 介護支援専門員養成研修事業         | 8,600      | 8,970      | △370   |
|      |          |                  | 13 介護等体験事業               | 1,336      | 1,360      | △24    |
|      |          |                  | 14 人材育成・団体活動支援等研修事業      | 3,527      | 2,709      | 818    |
|      |          |                  | 15 民間社会福祉施設職員福利厚生事業      | 2,596      | 1,961      | 635    |
|      |          |                  | 16 エルダー・メンター制度導入促進事業     | 2,716      | 2,716      | 0      |
|      |          |                  | 17 介護人材キャリアアップ研修受託事業     | 7,339      | 0          | 7,339  |
|      |          |                  | 人材育成・団体活動支援拠点区分 合計       | 163,845    | 162,320    | 1,525  |

(単位:千円)

| 会計   | 事業       | 拠点              | サービス区分                 | 当年度<br>予算額 | 前年度<br>予算額 | 増減       |
|------|----------|-----------------|------------------------|------------|------------|----------|
| 一般会計 | 社会福祉事業区分 | ④長寿社会づくり推進拠点区分  | 1 高齢者の生きがいと健康づくり事業     | 54,545     | 54,810     | △265     |
|      |          |                 | 2 組織づくりと指導者育成事業        | 16,439     | 16,222     | 217      |
|      |          |                 | 3 高齢者無料職業紹介所運営事業       | 2,777      | 2,774      | 3        |
|      |          |                 | 4 長寿社会づくり推進等研修事業       | 300        | 116        | 184      |
|      |          |                 | 長寿社会づくり推進拠点区分 合計       | 74,061     | 73,922     | 139      |
|      |          | ⑤企画広報・助成等推進拠点区分 | 1 総合企画委員会推進事業          | 200        | 200        | 0        |
|      |          |                 | 2 局内プロジェクト推進事業         | 200        | 200        | 0        |
|      |          |                 | 3 福祉団体・各種大会等助成事業       | 4,120      | 8,680      | △4,560   |
|      |          |                 | 4 社会福祉振興基金事業           | 36,006     | 46,402     | △10,396  |
|      |          |                 | 企画広報・助成等推進拠点区分 合計      | 40,526     | 55,482     | △14,956  |
|      |          |                 | 社会福祉事業区分 合計            | 671,510    | 653,525    | 17,985   |
|      | 公益事業区分   | ⑥公益事業拠点区分       | 1 介護福祉士修学資金等貸付事業       | 179,982    | 173,558    | 6,424    |
|      |          |                 | 2 保育士修学資金等貸付事業         | 313,907    | 458,919    | △145,012 |
|      |          |                 | 3 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業 | 33,234     | 141,133    | △107,899 |
|      |          |                 | 公益事業区分 合計              | 527,123    | 773,610    | △246,487 |
|      |          | ⑦収益事業拠点区分       | 1 賃貸事業                 | 31,246     | 31,153     | 93       |
|      |          |                 | 2 書籍等販売事業              | 1,090      | 1,021      | 69       |
|      |          |                 | 3 沖縄県総合福祉センター管理運営受託事業  | 98,228     | 96,508     | 1,720    |
|      |          |                 | 収益事業区分 合計              | 130,564    | 128,682    | 1,882    |
|      |          |                 | 一般会計合計                 | 1,329,197  | 1,555,817  | △226,620 |

(特別会計一覧表)

| 会計       | 特別会計                  |      | 当年度<br>予算額① | 前年度<br>予算額② | 増減③<br>(①-②) |
|----------|-----------------------|------|-------------|-------------|--------------|
| 特別<br>会計 | 1 生活福祉資金特別会計          | 収入予算 | 3,772,263   | 3,742,763   | 29,500       |
|          |                       | 支出予算 | 300,768     | 246,526     | 54,242       |
|          | 2 要保護世帯向け不動産型生活資金特別会計 | 収入予算 | 92,625      | 97,850      | △5,225       |
|          |                       | 支出予算 | 21,917      | 19,633      | 2,284        |
|          | 3 生活福祉資金貸付事務費特別会計     | 収入予算 | 106,567     | 117,155     | △10,588      |
|          |                       | 支出予算 | 106,567     | 117,155     | △10,588      |
|          | 4 臨時特例つなぎ資金特別会計       | 収入予算 | 57,600      | 63,163      | △5,563       |
|          |                       | 支出予算 | 8,412       | 8,412       | 0            |
|          | 特別会計合計                | 収入予算 | 4,029,055   | 4,020,931   | 8,124        |
|          |                       | 支出予算 | 437,664     | 391,726     | 45,938       |

《補足説明》

特別会計は生活困窮者等への資金貸付事業を実施しており、収入予算が支出予算を大きく上回っているが、その差額のほとんどが次年度以降の貸付金原資となっている。

# 令和2年 沖縄県共同募金会 事業計画(概要)

## 基本方針

我が国の共同募金運動は、戦後の社会福祉事業の復興を支えるべく昭和22年以来、民間福祉施設の整備や地域福祉活動の推進に大きな役割を担ってきました。

近年では、少子高齢化の進展や地域の互助機能の後退等を背景に、本県においても社会的孤立、経済的な格差の広がりなど福祉課題が多様化、複雑化する中で、民間福祉団体やNPO等の支援活動も活発化しており、共同募金には、地域に密着した福祉活動を支える資金としての役割が一層強まっています。

一方、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(SDGs=Sustainable Development Goals)の実現を目指して、県内でも官民をあげた取り組みが始まっており、共同募金会としても「貧困をなくそう」、「すべての人に健康と福祉を」などの社会課題の解決に向けて民間活動の資金需要にに応じていく必要があります。

このため、令和2年度は募金実績の向上を目指して各種募金活動の強化を図るとともに、県市町村社会福祉協議会(以下「社協」という。)をはじめ、福祉団体、NPO等と連携を図り、より効果的効率的な資金助成に向けて、次の事業を重点に実施します。

- 1 令和2年度(第68回)共同募金運動の実施
- 2 令和2年度歳末たすけあい運動の実施
- 3 災害たすけあい運動の実施
- 4 市町村共同募金委員会(支会・分会)の基盤強化
- 5 広報活動の推進

### 1 令和2年度(第68回)共同募金運動の実施

- ① 赤い羽根共同募金(一般募金)の実績向上に  
取り組むとともに、県域、市町村域における  
テーマ型募金や県内企  
業の創業周年記念募  
金、遺贈・相続寄附な  
ど、多様な手法による  
募金運動の推進を図り  
ます。
- ② 子どもの貧困問題や  
SDGs 関連を含む民  
間福祉活動の資金需要  
調査を実施し、社会的  
ニーズに応じた助成を  
行います。
- ③ 「地域から孤立をなく  
そう」を本県の重点  
テーマに掲げ、誰もが  
孤立することなく安心  
して生活できる地域づ  
くりを推進します。
- ④ 県内の助成団体と連携  
を図り、助成を必要と  
する団体が適切、効果  
的に助成金を活用する  
よう連絡調整と啓発に  
努めます。

### 2 令和2年度歳末たすけあい運動の実施

- ① 各市町村において社協  
及び共同募金委員会を  
中心に、地域歳末たす  
けあい運動を推進しま  
す。
- ② 県域の歳末たすけあい  
運動に取り組み、単独  
の募金活動が困難な小  
規模離島の生活困窮世  
帯や児童養護施設の卒  
園予定児童、障害者団  
体等への効果的な配分  
を図ります。



赤い羽根空の第一便伝達式の様子



赤い羽根配分金を活用した福祉バス



企業からの寄付寄贈の様子



街頭募金の様子



### 3 災害たすけあい運動の実施

- ① 県内災害発生時に、県社協と協働して被災状況の情報収集を行い、被災地社協及び被災世帯への支援を実施します。
- ② 県内外で災害救助法が適用される等の大規模災害が発生した場合における被災者への義援金募集と、NPO等による災害支援活動への助成を行います。
- ③ 社会福祉法第118条に基づいて災害等準備金を積み立て、必要に応じて被災地における支援活動への助成金として拠出します。

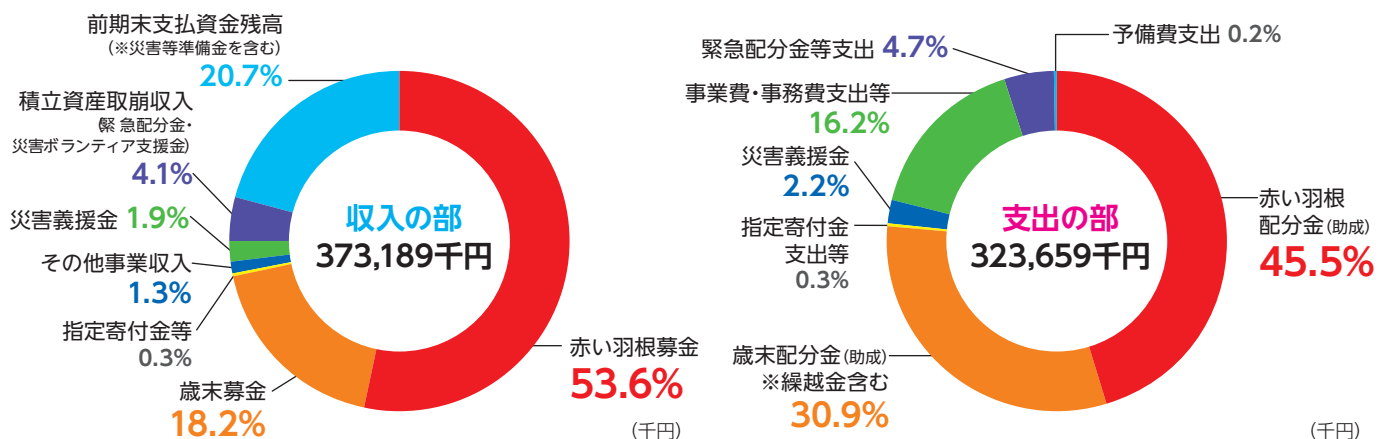
### 4 市町村共同募金の基盤強化

- ① 市町村共同募金委員会（支会・分会を含む。以下同じ。）役員・幹部職員の会議を開催し、共同募金をめぐる情勢・方針や募金運動推進に向けた取組の共通認識と共有化を図ります。
- ② 先島地区において市町村共同募金委員会の担当者連絡会を開催し、募金活動及び配分事業の課題解決に向けた協議を行います。
- ③ 市町村共同募金委員会の運営及び共同募金運動の実施状況について実態調査を実施し、課題解決の方策に関する研究協議を行います。
- ④ 市町村共同募金委員会における募金取扱い業務の効率化・適正化を図るため、管理システムの導入に向けて研究を進めます。

### 5 広報活動の推進

- ① マスメディアへのプレスリリースを積極的に行うとともに、テレビ、ラジオ各局の協力を得て広く共同募金運動の啓発を図ります。
- ② 本会ホームページ、フェイスブック及び機関紙掲載情報の充実を図り、県民、関係団体への情報発信を強化します。
- ③ 寄付者、募金ボランティア、受配団体、共同募金委員会等の交流を図るとともに、多額寄附者や募金ボランティアの顕彰の機会として「赤い羽根共同募金感謝の集い」を開催します。
- ④ 遺贈・相続寄附及び特定・指定寄附に関する広報を強化します。

## 令和2年度沖縄県共同募金会 収支予算概要



| 収 入                         |         |         |        |
|-----------------------------|---------|---------|--------|
| 科 目                         | 当年度予算額  | 前年度予算額  | 増 減    |
| 赤い羽根募金                      | 200,000 | 200,000 | 0      |
| 歳末募金                        | 68,000  | 68,000  | 0      |
| 指定寄付金等                      | 1,001   | 721     | 280    |
| その他事業収入                     | 4,726   | 7,064   | ▲2,338 |
| 災害義援金                       | 7,006   | 7,006   | 0      |
| 積立資産取崩収入（緊急配分金・災害ボランティア支援金） | 15,195  | 15,295  | ▲100   |
| 前期末支払資金残高（※災害等準備金を含む）       | 77,261  | 77,892  | ▲631   |
| 合 計                         | 373,189 | 375,978 | ▲2,789 |

| 支 出             |         |         |         |
|-----------------|---------|---------|---------|
| 科 目             | 当年度予算額  | 前年度予算額  | 増 減     |
| 赤い羽根配分金（助成）     | 147,295 | 158,218 | ▲10,923 |
| 歳末配分金（助成）※繰越金含む | 100,000 | 100,000 | 0       |
| 指定寄付金支出等        | 1,001   | 721     | 280     |
| 災害義援金           | 7,006   | 7,006   | 0       |
| 事業費・事務費支出等      | 52,561  | 50,242  | 2,319   |
| 緊急配分金等支出        | 15,196  | 20,135  | ▲4,939  |
| 予備費支出           | 600     | 3,665   | ▲3,065  |
| 合 計             | 323,659 | 339,987 | ▲16,328 |

「地域の人々が明るいネットワークを築き支え合う社会」を合言葉にはじまったサンクス運動。地域社会が変動する中、支え合う社会を築く多様な活動が行われています。サンクス運動関連記事では、県社協や各種団体でのそのような取り組みや活動を紹介します。

THANKS(サンクス)運動の更なる推進に向けて、地域共生社会の実現の推進に向けた新たな取り組み

県社協では、本会が実施するTHANKS(サンクス)運動の更なる推進に向けて、令和2年度からの3年間、「地域力強化推進事業」「小規模法人ネットワーク化事業」をスタートします。

#### 地域力強化推進事業

##### 「ゆいまーる事業」

「ゆいまーる事業」は、住民の身近な圏域(自治会圏域等)において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を図り、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備を図ります。

具体的な取り組みとして、身近な圏域において住民が主体的に課題の解決を試みるための協議の場「支え合い委員会」の設置をはじめ

め、住民主体の「地域相談窓口」設置や見守り活動など、住民相互の支え合い活動の推進を図ります。これらの取り組みを通じて、各市町村における包括的な支援体制づくりの推進や、住民の地域活動への参加意識の向上が期待できます。

#### 小規模法人ネットワーク化事業

##### 「ちゅいしいじい事業」

「ちゅいしいじい事業」では、小規模な法人を含め、地域の社会福祉法人や福祉サービス提供機関が連携し、地域貢献のための取り組みが促進されるよう、地域の中で顕在化している福祉ニーズに積極的に対応する仕組みを構築します。

具体的には、県内3社協をモデルとし(今帰仁村社協・西原町社協・那覇市社協)それぞれで法人間連携プラットフォームフォーム(※複数の法人等が参画し、地域課題に関する協議を行う場)を設

置し、法人間の連携による地域貢献のための協働事業の立ち上げや福祉・介護人材の確保・定着のための取り組みを進めます。

新規事業を活用した、THANKS(サンクス)運動の更なる推進に向けて

県社協としては、THANKS(サンクス)運動の更なる推進に向けて、上記新規事業の成果等を踏まえ、県内の各市町村社協等に対して、その先駆的な取り組みを広報するとともに、各種会議や研修会等を活用して、県内の福祉関係者に対して普及啓発を図ります。



▲地域住民と関係機関等が協働した災害にも強い地域づくりの取り組み(八重瀬町新城自治会)

#### アクティブシニアのボランティア学習ツアーの開催

沖縄県ボランティア・市民活動支援センターでは、「アクティブシニアのボランティア学習ツアー」(以下、学習ツアー)を2月17日、糸満市内にて実施し、かりゆし長寿大学校の学生11名が参加しました。

本事業は、身近な地域の課題に取り組む様々な分野のボランティア活動について理解を深めてもらうとともに、「誰もが住みやすい地域づくり」に向けた人材づくりや社会的課題への対応等、福祉教育の推進を図ることを目的としています。

今回のツアーでは、子どもの居場所活動に取り組んでいる「ふらっとこうえん前」の取り組みについて、糸満市社会福祉協議会地域福祉推進係の赤嶺二行氏から、子どもの居場所としての活動の概要やボランティアが担う

役割について説明をいただきました。

もう一か所の拠点「ボランティア応援センターふらっと」では、実際に糸満市内でボランティア活動を行っているかりゆし長寿大学校の卒業生と参加者との情報交流会を行いました。

卒業生から、ボランティア活動を始めたきっかけや活動の内容、やりがい等の話があり、卒業後の地域活動について具体的なイメージを持つていただくことができました。



▲情報交換会の様子



ふくし&amp;○○

この「ふくし&○○」では、様々な形で地域福祉の推進に取り組む事業所等を紹介いたします！

第4回

## ふくし&amp;住まいのサポート

「未来創造企業」として住環境支援事業から不動産事業、通信事業に至るまでさまざまな事業を展開する「レキオグループ」(株式会社レキオスホールディングス代表取締役社長兼CEO宜保文雄氏)より今回は事業本部 本部長の下地雅美さんからお話を伺いました。

下地…レキオスグループは、「人生の基盤となる『住まい』をどのような立場の人でも等しく確保できる社会を作りたい」という想いから創業いたしました。

その中で貸し手・借り手の間に生じる「不安・不満・不快」といった「不」の解消を目指し、「家賃債務保証」や「入居者総合保険」、「24時間緊急通報サービス」といった「住環境支援事業」などを行っています。

## 「地域支援事業」について

下地…障害者自立支援法の施行に伴い、住まい確保の支援などの観点から行

政が行う各種協議会等に弊社が委員として参加していました。その中で、障がいのある方や高齢者の方々が、居住先を確保するために苦慮されている現状を知り、住環境支援事業で培った経営資源をうまく活用できないかと着目し、行政や関係機関と連携する事で、入居支援から居住の継続を支援する「居住サポート事業」を実現いたしました。現在では、7市町において受託事業として実施しております。

他には、地域の不動産関連団体と連携し、児童養護施設の卒園者を対象に「巣立ち居住サポート」を行っています。一人暮らしに必要な住まい探しや食事作り、税金の払い方等についての学びをサポートしています。

そして、公営住宅の指定管理者として運営管理を行う中で、団地コミュニティ機能の再生や自治会活動の活性化を推し進めるなど、地域とのつながりの中から課題解決に向けたさまざまな事業を展開しています。

レキオスグループが人と人、関係機関とのつながりを通して描き・創造する沖縄の未来の実現に今後も期待しています。



▲下地 雅美さま  
株式会社レキオス  
<http://www.lequios.co.jp>

## 生活福祉資金

## 新メニューの創設!!

令和2年4月1日から、就職氷河期世代支援として、複式資金の福祉費(技能習得費)の貸し付けにかかる新しいメニューである「長期訓練生計費」が創設されました!

国家資格等を取得するために長期の公共訓練コース(12ヶ月未満のものを除く。)等を受ける方が対象です。

ただし、受講前と受講後に、自立相談支援機関による支援(プラン作成、就労支援)を受けることが必須となります。

生活福祉資金ではこれまで、世帯として低所得等の条件がありましたが、この長期訓練生計費は、市長村個人住民税非課税の方であれば利用することが可能となります。

詳しくは、お住いの市町村社会福祉協議会までお問い合わせください。

5月12日は  
民生委員・児童委員の日

本県には、厚生労働大臣の委嘱を受け、ボランティアで地域住民の身近な相談相手として、福祉の専門機関等への橋渡しを担う**民生委員・児童委員が1,975名(令和2年4月1日現在)**います。

民生委員制度の源である岡山県の済世顧問制度設置規程が1917年(大正6年)5月12日に公布されたことから、毎年この日を民生委員・児童委員の日と定め、12月からの1週間を活動強化週間として全国23万人超の民生委員・児童委員が一斉にPR活動を展開します。

**民生委員・児童委員活動スローガン**  
**～支え合う 住みよい社会 地域から～**

活動強化週間

令和2年 5月12日(火)～18日(月)

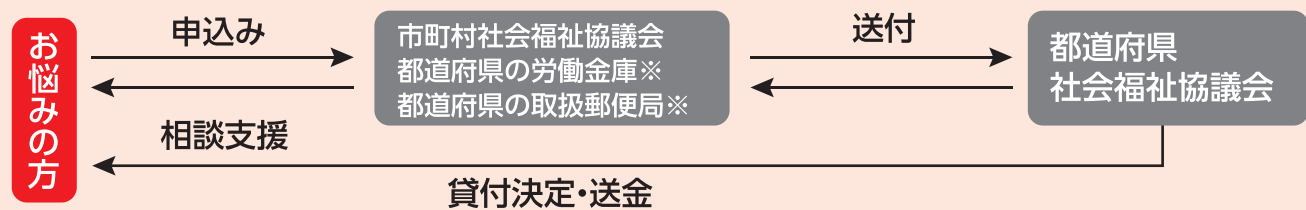
## 一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

沖縄県社会福祉協議会では、低所得世帯等に対して、生活費等の必要な資金の貸付け等を行う生活福祉資金貸付制度を実施しております。

本制度につき、**新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた償還免除の特例を設けた「緊急小口資金等の特例貸付」を実施**します。

具体的な内容のお問合せや貸付のご相談は、**各市町村社会福祉協議会の生活福祉資金相談係**までお願いします。

### 貸付手続きの流れ



※労働金庫及び取扱郵便局で申込みを受け付けるのは緊急小口資金のみであり、総合支援資金については、お住いの市町村社会福祉協議会にご相談ください。

### 主に休業された方向け(緊急小口資金)

赤字は従来の要件を緩和したもの。

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、少額の費用の貸付を行います。

#### ■対象者

**新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯**

※ 従来の低所得世帯等に限定した取扱を拡大。

#### ■貸付上限額

**・20万円以内**

※ 従来の10万円以内とする取扱を拡大。

#### ■据置期間 **1年以内**

※ 従来の2月以内とする取扱を拡大。

#### ■償還期限 **2年以内**

※ 従来の12月以内とする取扱を拡大。

#### ■貸付利子・保証人

無利子・不要

#### ■相談・申込先

市町村社会福祉協議会又は県内の労働金庫店舗

### 主に失業された方等向け(総合支援資金)

※総合支援資金のうち、生活支援費。

生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行います。(生活支援費)

#### ■対象者

**新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯**

※ 従来の低所得世帯に限定した取扱を拡大。

#### ■貸付上限額

・(2人以上) 月20万円以内

・(単身) 月15万円以内

貸付期間：原則3月以内

#### ■据置期間 **1年以内**

※ 従来の6月以内とする取扱を拡大。

#### ■償還期限 **10年以内**

#### ■貸付利子・保証人

**無利子・不要**

※ 従来、保証人ありの場合は無利子、なしの場合は年1.5%とする取扱を緩和。

#### ■相談・申込先

市町村社会福祉協議会

(注) 今回の特例措置では新たに、償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除することができるとしています。

※本貸付の受付期間は、当面、令和2年7月末までとなります。



## 新型コロナウイルスによる

## 各社会福祉施設等への 影響調査及び県への要望について

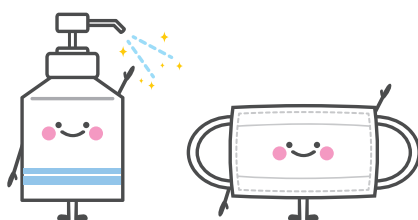
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各福祉施設においてマスクや消毒液など消耗品の品薄状態が起きている状況を踏まえ、本会では県内の社会福祉法人に対し、マスク及び消毒液等の在庫状況を把握する緊急調査を実施いたしました。

本会ではこうした状況を受け、福祉サービス利用者の安心・安全を守る観点から県主管課に対し、マスク等の確保に対策を講じるよう緊急の要望書を提出いたしました。

調査では、回答した福祉施設・法人の約70%が、近日常務理事(県社協)から、大城県子ども生活福祉部長(当時)へ要望書を手渡ししました。



▲要望書を提出する嘉陽 常務理事(県社協)



## 沖縄県介護実習・普及センター 令和2年度に開催する介護講座のご案内

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程の一部が中止となっております。また、今後の感染状況等を踏まえ、日程の変更や中止となる場合がございますので、予めご了承ください。詳しくは下記までお問い合わせください。

### 一般県民向け 今日から使える!はじめての介護講座 ※沖縄県総合福祉センターで開催

#### 【前期】

- ①(中止) 6/10(水) 基本を知ろう!起き上がる・座る・立ち上がる・移るまでの介助法
- ② 7/22(水) 車いすを使った安心・安全な介助法
- ③ 7/29(水) 上手にしよう!福祉用具の選び方と活用法
- ④ 9/3(木) 正しい姿勢で楽しい食事の介助法

#### 【後期】

- ① 9/9(水) 基本を知ろう!起き上がる・座る・立ち上がる・移るまでの介助法
- ② 9/16(水) 不安を解消!排泄ケアの基礎知識と介助法
- ③ 10/14(水) 上手にしよう!福祉用具の選び方と活用法
- ④ 12/16(水) 知って得する!介護保険制度の基礎知識と活用



■定員: 各16名 ※後期④のみ定員20名の座学講座 ■受講料: ¥200(1講座)  
■時間: 前期・後期①13時半~16時半 前期・後期②③④13時半~15時半



### 介護従事者向け スキルアップ講座(基礎編) ※沖縄県総合福祉センターで開催

|   | 前期 | 後期      | 講座名                         | ■定員: 各16名         |
|---|----|---------|-----------------------------|-------------------|
| ① | 中止 | 8/26(水) | 自立支援へ向けた持ち上げない介助の基本         | ■受講料: ¥1,000(1講座) |
| ② | 中止 | 9/23(水) | 移乗を助けるスライディングボード、シート、リフトの活用 | ■時間: 13時半~16時半    |

### 介護従事者向け スキルアップ講座(応用編) ※沖縄県総合福祉センターで開催

|   | 前期      | 後期       | 講座名                 | ■定員: 各16名         |
|---|---------|----------|---------------------|-------------------|
| ① | 中止      | 9/30(水)  | 適切な排泄用品の選び方とスキンケア   | ■受講料: ¥1,000(1講座) |
| ② | 中止      | 10/7(水)  | 誤嚥予防のための正しい食事の姿勢と介助 | ■時間: 13時半~16時半    |
| ③ | 8/19(水) | 10/28(水) | ポジショニングで安楽な姿勢と拘縮予防  |                   |



※①②講座(前期)については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

## 介護実習普及センター 令和2年度に開催するイベントのご案内

第10回 福祉機器展2020 ※左記イベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、  
第14回「介護の日」講演会 中止となりました。

介護実習センターでは福祉用具展示場にて介護に必要なさまざまな福祉用具を展示しています。また、地域で活動されている一般県民、民生委員、婦人会などの各種団体向けの福祉用具展示場見学会を開催しています。

【お問い合わせ】 沖縄県介護実習・普及センター

TEL: 098 (882) 1484 / FAX: 098 (882) 1486



寄付・寄贈者芳名(2月1日～3月31日) 御寄付・御寄贈いただき、誠にありがとうございました。

※本会への寄付については、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは総務企画部まで



▲株式会社ニッシンハウジング様(3.12、3.18)  
【写真左】株式会社ニッシンハウジング  
代表者 宮城 スティーブン 様  
【写真右】本会 会長 湧川 昌秀



▲公益社団法人那覇法人会女性部会様(3.12)  
【写真前列右から2番目】  
公益社団法人那覇法人会女性部会  
部会長 荒垣 政美 様  
公益社団法人那覇法人会女性部会の皆様  
【写真3列目中央】  
本会 総務企画部副部長 伊良皆 和弘



▲NTT 西日本沖縄支店様(2.27)  
【写真左から2番目】NTT西日本沖縄支店  
支店長 畔上 修一 様  
【写真左から1番目】  
同社 広報室長 大嶺 高修 様  
【写真右から2番目】本会 会長 湧川 昌秀  
【写真右から1番目】本会 常務理事 嘉陽 孝治



▲那覇市垣花奉頌会様(3.31)  
【写真前列左】  
一般財団法人那覇市垣花奉頌会  
理事長 比嘉 眞三 様  
【写真後列】  
一般財団法人那覇市垣花奉頌会  
役員のみなさま  
【写真前列右】本会 常務理事 嘉陽 孝治



▲かりゆし長寿大学校 18期卒  
十八の夜・いきいきの会様(3.19)  
【写真中央】かりゆし長寿大学校 18期卒  
十八の友・いきいきの会  
会長 山城 健 様  
【写真左】同会 会員 与儀 清治 様  
【写真右】本会 事務局長 高良 正樹



▲株式会社 FirstLine 様(3.18)  
【写真前列左から1番目】  
株式会社ファーストライン  
代表取締役 大城 勇 様  
【写真後列右から1番目】  
同社 営業部長 新垣 剛 様  
【写真後列左から1番目】  
同社 店長 山本 保 様  
【写真後列左から2番目】  
同社 FC浦添店オーナー 新里 浩史 様  
【写真前列左から2番目】  
同社 社員 新垣 由香 様  
【写真前列右から1番目】  
本会 会長 湧川 昌秀

社会福祉ライブラリーから

本の紹介

小さな村の一人の少年からのお便り  
こころの風

著者：具志堅 きょうた

この詩集は、今帰仁村立今帰仁中学校に在籍する具志堅 興托さんが小学3年生から中学2年生までに書き溜めた詩集です。興托さんは知的障がいがあり、学校の先生方などの手助けを得ながら、学校生活や日常の出来事を豊かな感性で捉え、独自の表現力で絵画や詩として表してきました。その作品は他の児童や職員のみならず、手に取った人々の心を震わせ感動させるものとして高い評価を受けています。この詩集は、詩集発行実行委員会より本会へ寄贈があり、当ライブラリーにて、貸出用図書として取り扱っています。興托さんの素直で心温まる詩集をぜひ、読んでみてください。



●嘉数 昇明 様  
●前泊 秀雄 様

●具志堅 興托さん  
詩集発行実行委員会 様

令和2年度  
県社協・県共募人事異動  
兼任  
國吉真斗 福祉人材研修センター主任、根路銘夕貴 運営適正化委員会主任  
宮城克剛 総務企画部主任  
〈異動〉  
新川伸一 総務企画部長、上間直子 施設団体福祉部長、新屋司 民生部主査  
川満大 福祉サービス利用支援センター主査、沢紙彩乃 総務企画部主任、仲村政利 地域福祉部主任  
〈出向〉  
金城尚子 沖縄県共同募金会

編集後記

普段の生活のなかから、病気になる体づくり、免疫力アップをこころがけましょう！

表紙の作品

作品名  
「ヤンバルクイナの家族」



作成者：平得 光雄 さん

平得光雄さん(73)は、元々絵を描くことが好きで、警察署で勤務する傍ら、署内で発行される会報誌の表紙に作品が掲載されることもあったそうです。  
退職後、65歳で脳梗塞を患い、リハビリで通いはじめた事業所にて、洋画を再開し、今回のかりゆし美術展受賞に至ったそうです。  
「故郷の西表島の原風景を思い出しつつ、ヤンバルクイナを掛け合わせて描きました」と語る平得さん。  
現在はイリオモテヤマネコを題材とした絵を描いているそうで、絵を見たペットの犬が、その迫力から吠えてしまうそうです。  
平得さんは家族のサポートを得つつ作品を描いているそうで、今回の作品にもその光景が描かれているような、そんな温かい情景を感じました。